

令和7年度 部活動地域展開 実証事業 総括アンケート結果

対象：地域展開7クラブ

回答者数

教職員：12名

中学生：82名

保護者：85名

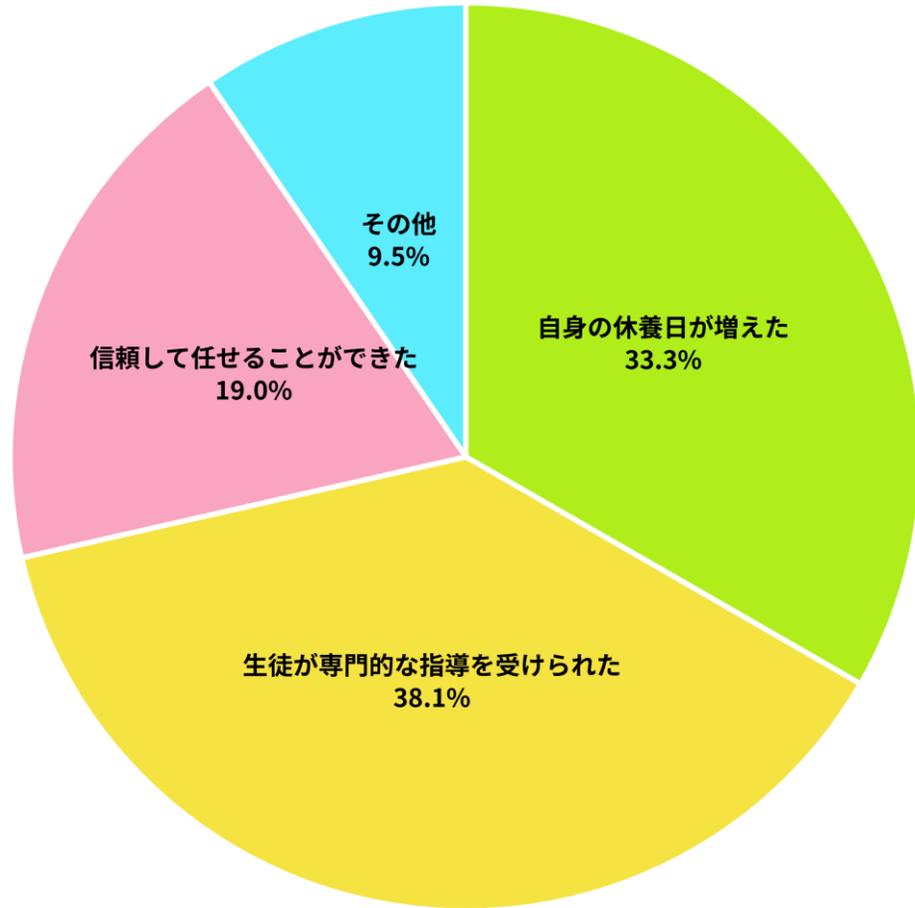
指導者：14名

葛城市教育委員会

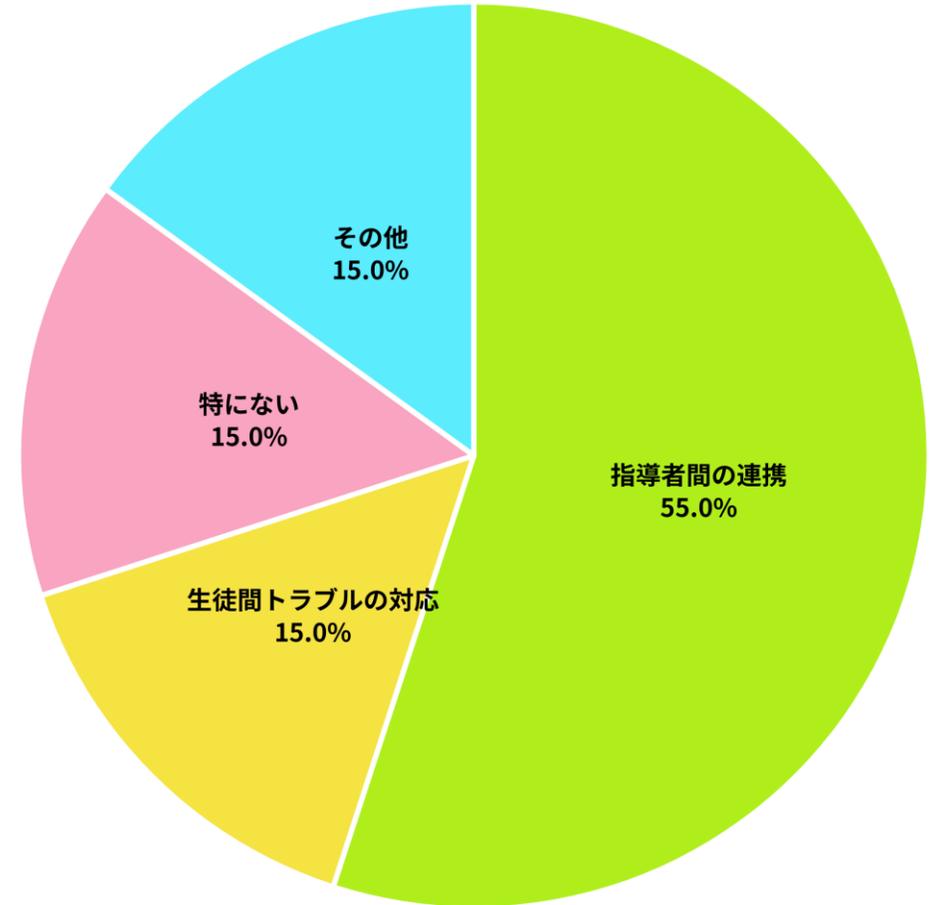
教育部 学校教育課

教職員

部活動を地域展開して良かった点



部活動を地域展開して難しく感じた点

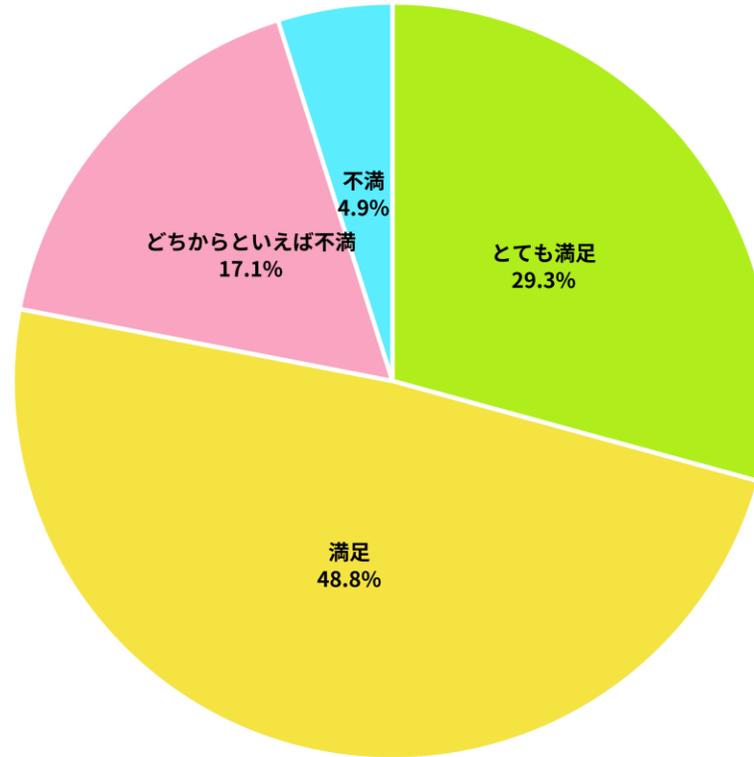


「その他」の回答

- ・期待していたほど専門的な指導を受けられなかった
- ・活動場所や時間の調整 等

中学生

地域クラブ活動に参加した満足度



満足できた主な理由

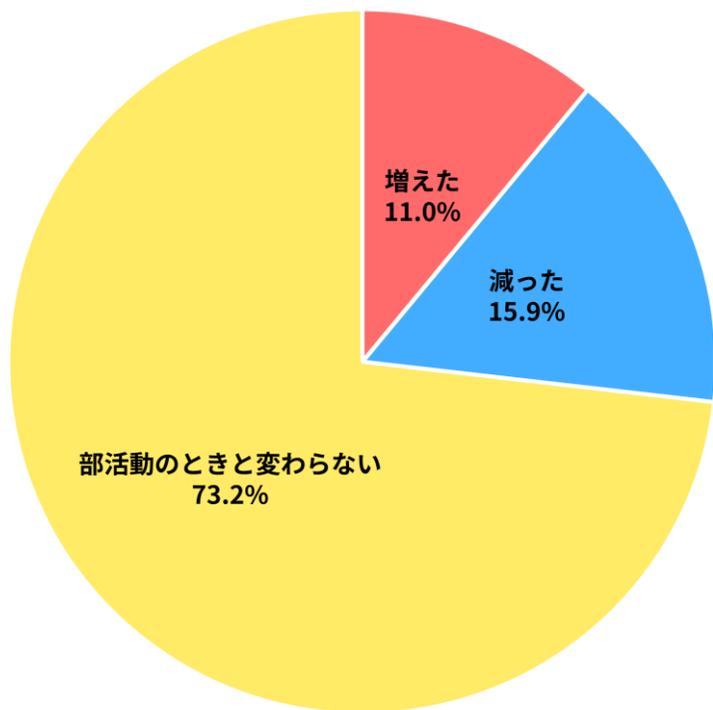
- ・ 専門的な指導が受けられたから
- ・ 指導者が親しみやすく接しやすかったから
- ・ 指導者の指導がわかりやすかったから
- ・ 地域クラブと部活動が連携し、違和感なく活動できたから

不満に感じた主な理由

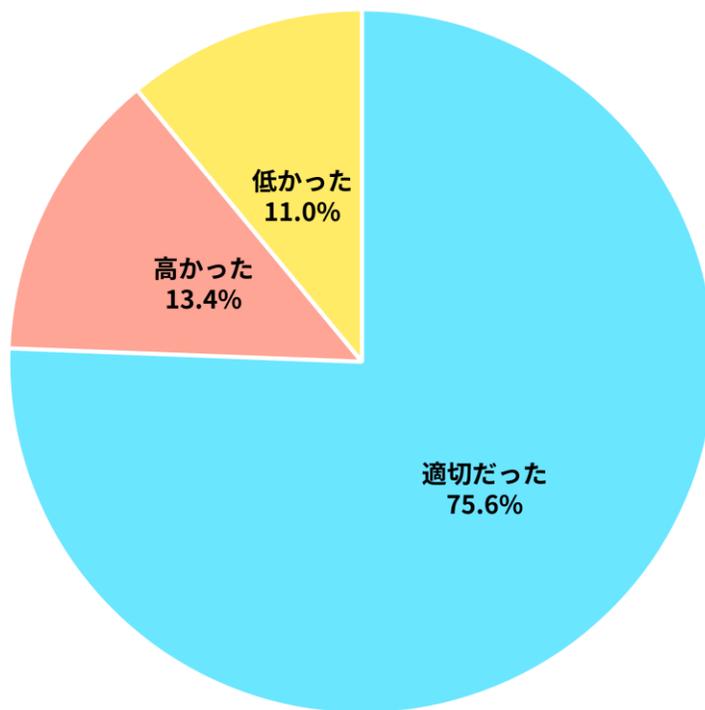
- ・ 期待していたほど専門的な指導を受けられなかったから
- ・ 普段と違う指導者で慣れるまで時間がかかったから
- ・ 平日と休日の指導者が言っていること（指導方法）が異なることがあったから

中学生

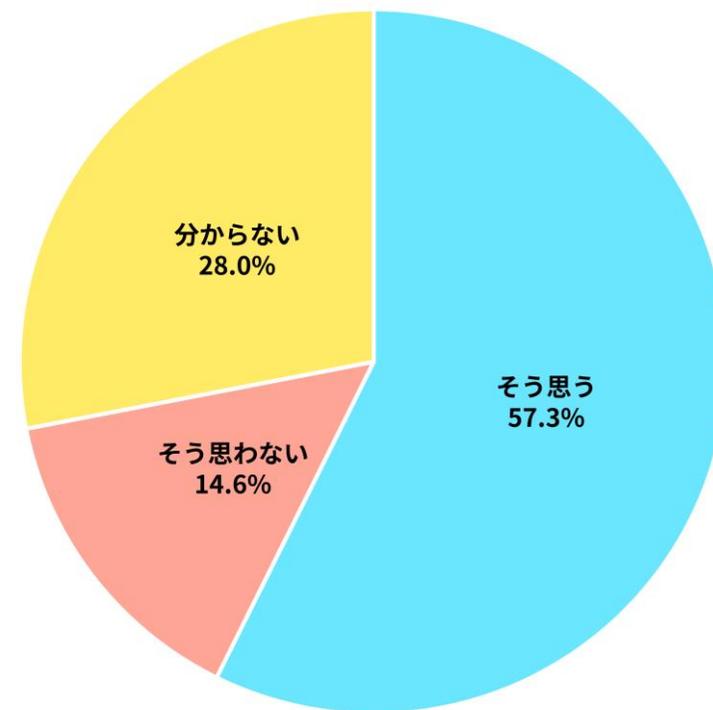
活動への参加頻度は変わったか



練習のレベルは合っていたか

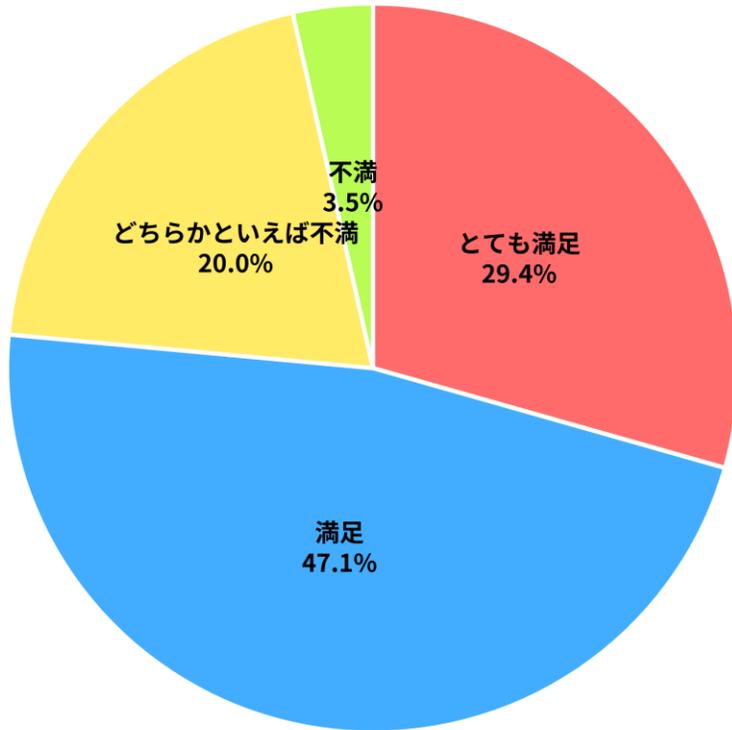


自分自身の技術が向上したと思うか



保護者

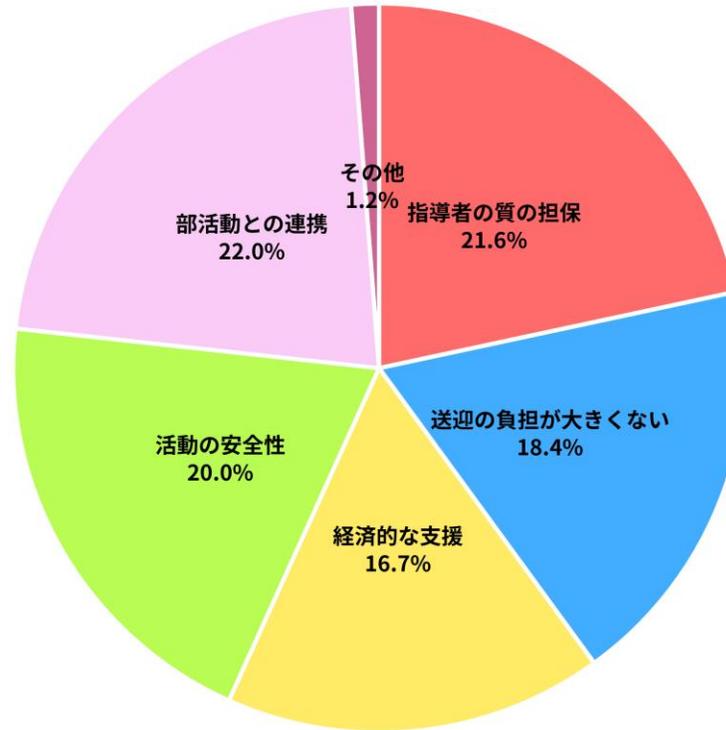
子どもの地域クラブ活動への満足度



満足できた主な理由

- ・子どもが楽しんで活動しているから
- ・専門的な指導が受けられ、技能の向上や意欲が増したから
- ・地域指導者の指導が信頼できるものであったから
- ・部活動と同等の活動ができたから

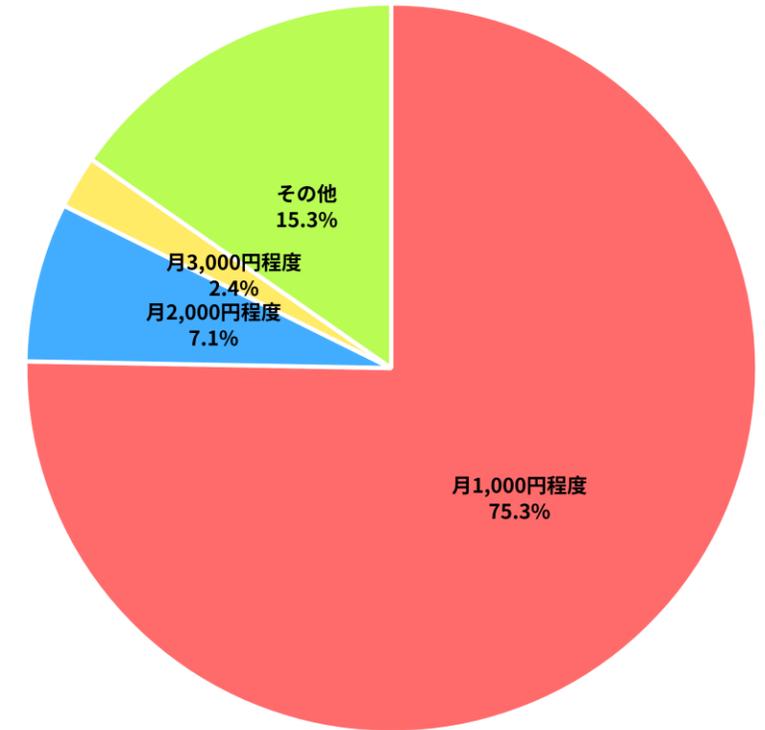
地域クラブ活動に参加しやすくなるために必要なこと



不満に感じた主な理由

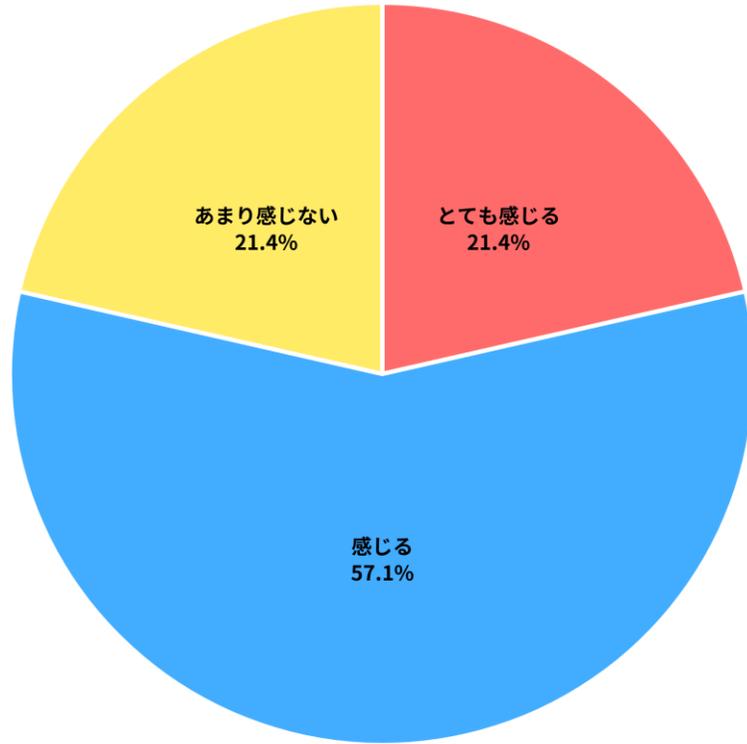
- ・子どもに地域の指導者の指導が合わなかったため
- ・指導は学校の先生が望ましいと考えるため
- ・地域クラブの連絡ツールが学校のものとは異なっており、手間だったため

適切な保護者負担額について



指導者

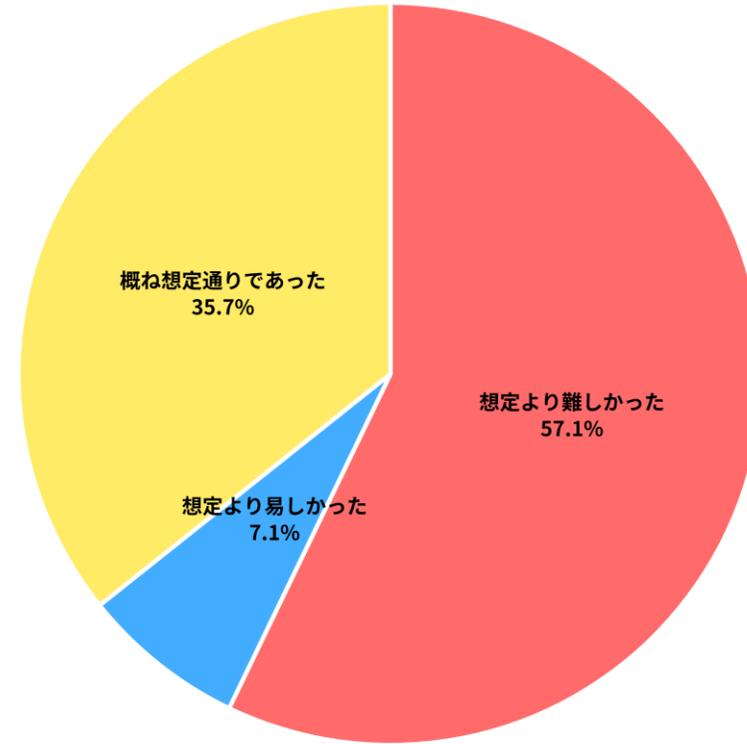
やりがいを感じるか



やりがいを感じた主な場面

- ・ 生徒の成長を感じることができたとき
- ・ 生徒が楽しそうに活動している姿を見ることができたとき
- ・ 生徒が熱心に競技に取り組む姿を見ることができたとき
- ・ 競技の楽しさを生徒へ伝えることができたとき
- ・ 生徒と円滑にコミュニケーションが取れたとき

中学生への指導について



難しさを感じた主な場面

- ・ 平日の指導との一貫性をはかること
- ・ 生徒とのコミュニケーション
- ・ 参加人数に対する活動スペースや指導者の人数の不足
- ・ 生徒のケガ等の対応

総括アンケートからみえた成果と課題

✔ 主な成果

● 活動に対する高い満足度

- ・ 地域指導者の専門的な指導で、多くの生徒・保護者が満足できる活動を実現し、生徒自身が自己の成長を実感している。
- ・ 指導者の多くが「生徒の成長」や「競技の楽しさを伝えること」にやりがいを感じることができている。

● 教職員の働き方改革の実現

- ・ 多くの教職員が「自身の休養日が増えた」と回答し、本来業務における質の向上が期待できる。

● 学校と地域の連携

- ・ 教員、指導者、市教委間での定期的な情報共有の実施により、概ね円滑に活動を進めることができている。

🌱 次年度のさらなる発展に向けたポイント

● 指導の継続性と一貫性の強化

- ・ 今後も教員・指導者間で丁寧な情報共有を行うことで、生徒・指導者双方にとってより良い活動環境を目指す。

● 指導の質の担保

- ・ 指導者研修会の定期的な実施により、生徒・保護者にとって心理的安全性の高い活動環境を実現。

● 受益者負担の考え方

- ・ 適切な参加費を設定するとともに、必要な世帯への支援制度を構築。